

2号 トトモニ

しおじり協働通信
平成30年度

ご自由にお持ちください



特集『あの人とともに』

中西条夢くらぶ文殊

目指した姿はあの日のふる里——
池の再生から街道づくりへ！

皆さんの思いや活動を応援します！

● まちづくりチャレンジ事業補助制度

トトモニ

2号

しおじり協働通信トトモニ 平成30年度 第2号



TAKE FREE

市民のみなさんへ お知らせ

まちづくりチャレンジ事業補助制度

あなたのチャレンジを応援します！塩尻のまちをもっと住みよく、楽しくするための(公益)活動に対して、塩尻市では補助金を交付します。平成31年度の募集受付期間は一次募集を4月に、二次募集(トライアルのみ)を9月に予定しています。塩尻を元気にする素敵な活動の参加をお待ちしています！

○●◇◆□■ 選べる“チャレンジのカタチ” ■□◆◇●○

体験型 トライアル事業 	「何か始めてみよう」という団体の皆さんに、まちづくりへの参加のきっかけを得てもらうための事業です。事業の実施を通して、活動をしていくためのネットワークづくりを行うとともに、市民の皆さんに身近な課題を提案し、共有を図ります。	発展型 ステップアップ事業 	「得意分野を生かし、新たなまちづくりの担い手を目指そう」という、団体の自立や新たな事業の確立を目指すための事業です。計画的に事業展開を行いながら、3年の間に段階的にステップアップを図ります。
---	---	---	---

事業	体験型：トライアル事業	発展型：ステップアップ事業		
		1年目	2年目	3年目
達成目標	ネットワークづくり、身近な課題の共有や提案	団体設立のための環境整備、事業の実施	団体の発展のための環境整備、事業の発展	協働事業(公共を担う事業)実施に向けた事業展開
補助限度額	10万円	20万円	20万円	40万円
対象経費の補助率	10/10以内	9/10以内	8/10以内	7/10以内
応募受付	年2回【4月・9月】	年1回【4月】		
採択基準	○目的が明確か ○公益性があるか	○目的が明確か ○自立しているか、あるいは自立を目指しているか	○公益性があるか	
研修・交流会等への参加(必修事項)	◆ 団体のスキルアップのための研修会への参加(「協働とは」、「団体運営の課題解決」など) ◆ 活動の成果を広く知ってもらうための交流会などへの参加 … ● まちづくり交流会 ● 中間報告 ● 実績報告会			
補助対象外	◆ 社会や、地域のどのような問題を解決するための活動なのかが不明確なもの ◆ 公益性がない活動・事業…趣味やサークルの活動、個人や団体の利益のための活動、参加者が少人数に限定される活動、宗教・政治活動を目的とした活動 ◆ 自立を目指さない団体・事業…会則を定めていないもの、会費を徴収していないもの、財政計画がきちんとしていないもの、食糧費・通常の事務費・備品の比率が補助対象経費全体の6割以上のもの			

※本制度は、塩尻市補助金等交付規則および塩尻市まちづくりチャレンジ事業補助金交付要綱に基づいて実施しています。

市民公益活動に関する掲載記事やお知らせを募集しています！詳しくは、えんのわまで！

本誌に関する
お問合せ先

発行 塩尻市市民交流センター 交流支援課

〒399-0736 塩尻市大門一番町12-2 TEL:0263-53-3350(内線4221)
E-mail:collabo@city.shiojiri.lg.jp http://enpark.info/

編集 特定非営利活動法人 えんのわ

〒399-0736 塩尻市大門一番町12-2 TEL/FAX:0263-54-3320
E-mail:ennowa@hotmail.co.jp

目指した姿はあの日ふる里——
池の再生から街道づくりへ！

中西条 夢へつづ文殊

塩尻市中西条地区。住宅が並ぶ約1キロメートルほどの街道は、季節によって様々な姿を見せる。5月の春の季節はこのほり（現在は春の花街道）、7月は七夕、10月は秋の花街道、12月はイルミネーションなど、四季に応じた華やかな装飾が街道を彩っている。この街道の整備に当たるのは、市民活動団体の「中西条夢くらぶ文殊」（中村暢秀代表）だ。2004年10月に、地域を元気にしたい思いから、人材活用・交流の場として誕生した。現在は20人弱の会員で地域住民の協力を仰ぎながら季節ごとの街道づくりを担っている。

同クラブが街道づくりをする目

季節の花もそうです。各家庭に協力して頂き、派手でなくても自分たちで用意出来る小さな花や電飾で」と、持続性を重視したと話す。会員の平均年齢が約70歳という同クラブ。最初に取り組んだ作業は地元の「文殊の池」の再生だった。時を経て荒廃した池を、会員の心象風景にある当時の姿に戻したい。今の子ども達に昔のせせらぎを届

的は、参加メンバー自身が地域の魅力を再発見することはもちろん、地域防犯という観点がある。通り沿いには約8割の家が面しており、共通のイベントに取り組んでいることで「活気のある街」、「団結力のある住民監視の目がある街」であると示している。その他にも、帰路につく住民が「自分の街に帰っ



てきたなあ」と思える街道にしたという思いが込められているそうだ。会員は、「この土地は西側の山に近い立地で午後5時ともなれば暗いため、防犯の観点からイルミネーションなどを始めました。



けたいとの思いからスタートし、池を整備して春には池のほとりに鯉のぼりを泳がせた。これらの活動のために、塩尻市のまちづくりチャレンジ事業の補助を受けるなどして活動費を賄ったこともある。活発に活動を続けてきたものの、メンバーの高齢化に伴う制約も出てきているそうだ。それでも大好きな地元のために「やりたいこと

はたくさんある！」という有志の想いを柱に、より元気な地域づくりを目指している。



「フリーコミュニティスペース」をご活用ください！



「フリーコミュニティスペース」は、市民や地域の利益（公益）につながる活動を行っている市民活動団体のためのスペースです。団体登録することで、スペースを予約し、優先して利用することができます。活動するスペースにお困りの市民活動団体の皆さんは、ぜひご活用ください。

●場所：市民交流センター2階

※予約がない場合、一般利用者に開放する場合があります。

※利用方法などの詳細は、交流支援課にお問い合わせください。

